



あなたのカルマ鑑定書
～運命の人と出会えないのは？
人生の旅とソウルメイトの深い関わり～

Ms T□□□.I□□□

Tさん、こんにちは。

この度はご依頼いただきましてありがとうございます。

仕事が辛いのは人生の中においてもとてもしんどい出来事だと思います。

私も経験があるのでよく分かります。

あのとき仕事はすごく嫌で嫌でたまらなかったのですが、

今同じ仕事をするとしたらどうだろうか？と問われたとき、

あそこまで苦しむことはないなー、普通に淡々とこなせるなーと言えます。

仕事の内容が変わらないのに、です。

自分の中で何が問題だったかという、知らずに自分を責めていたことでした。

「こうすればよかったんだー」というのが自己価値が上がることも分かってきて、

「なんだ・・・苦しむ必要なんてなかったんだ」と今は思います。

ただそれを今もやりたいかは別ですが、、、（笑）

さて、私たちの人生だと感じている現実（出来事）は実は夢だったりします。

どんな夢をみるのかは私たちの潜在意識（魂）が握っています。

過去世も一つの夢です。

私たちの潜在意識の中の一つの記憶です。

その記憶を感じることで、ご自身にとって何かの気づきになればいいなと思います。

ではリーディングについてですが、

いろいろな情報を過去世とホロスコープという側面からリーディングさせていただきますね。

まず初めに前世からみてみますが、ここで前世について少しお話させてください。

人間はたくさん前世をもっており、平均で100前後と言われています。

正確な数字がわからないのは、私の場合、

今の現時点で関係のある前世しか見られないからです。

ほかの情報はシャットアウトされます。

ですので、

ここで私が述べる前世というのは、今の人生の一つ前の人生ではなく、

今抱えていらっしゃる問題に対しての解答になる前世になります。

もう一つ、

実はこの世には、〇〇（有名人）の過去世だった人がたくさんいます。

なぜかというと、

魂は肉体を離れると、一つ一つ分離している状態は長く続かず、

すべての根源に一度溶けこむからです。

そして一つご了承頂きたいこととして、

私のリーディングは詳細な地名や年数が出るときと、

出ないときがあるということです。

それでは早速、魂の系譜を紐解いてみましょう ^ ^

30歳～半ばぐらいの少し小太りの男性です。

場所はロシア周辺部の小規模な国、時代は1600年代ではないでしょうか。

彼の仕事は今の刑務官のような役割でした。

罪人を監督する役目です。

その時代ですから、罪人に人権などはなく、扱いは動物以下のようなひどい状態でした。

彼も囚人にはとても厳しく接していました。

でも彼は全くの善人です。

家に帰るとよき夫であり、よき父親でもありましたから。

時代がそうだったというだけです。

1971年にスタンフォード監獄実験という心理実験がおこなわれましたが、

人の心というのは、環境にそまりやすいのです。

仕事場では囚人よりも立場が強いのですが、

その仕事の中では低い方の立場でしたので

他の部署というか場所というか、そこで働く人々には

からかわれたり、嫌がらせをうけるようなこともあり、ストレスのたまる仕事だったようです。

なので、気に食わないことがあると、囚人に手を出したりもしていました。

そんなわけで、仕事が終わると、

ときどき同僚と飲みに行き仕事の憂さ晴らしをしたりしていました。

彼も今の自分が良いとは思ってはいませんでした。

表層意識ではあまりわかっていませんでしたが、心の深いところでは、

そんなことをすることを良しとは思っていませんでした。

だから気持ちも荒れぎみでしたし、毎日がつまらないというか・・・

ある日、一人の囚人が収監されました。

その囚人は無罪だということは、いろいろな諸事情から男性もわかっていました。

そういう無罪の人が収容されることは過去にも多々あり、

運の悪い男性だということをただ思っていました。

でもほとんどの囚人が罵声や怒号を言い、それを抑制することが大変なのに

その囚人は無罪だとも主張せずにとだ静かに過ごしているのです。

彼はどうしてそういう行動ができるのか不思議に思い始めました。

そしてその囚人と時々話すようになったのです。

囚人が何か特別にすごいことを言っているわけではありませんでしたが、

囚人と話すのが楽しいというか、心が穏やかになるというか、

そんな気持ちになっていったのです。

それは他の同僚の中にも同じように感じる人がいました。

またその逆に、その囚人をものすごく嫌う人もいたのです。

とくに他の囚人からはその囚人は嫌がらせを受けることが多く、怪我をすることもありました。

ある日、古くからいる囚人がその囚人に暴力をふるい大きな怪我をします。

怪我をした囚人は独房に入り、治療を受けますが囚人ですから

そんなにいい治療をうけられるわけではありません。

男も心配し、毛布や水などを用意していきますが、囚人の容体は悪化していきます。

もともと痩せていて、あまり丈夫ではないのもあったので

男の願いも届かずに亡くなってしまいました。

彼にとってはそれがものすごくショックで罪悪感でいっぱいになりました。

彼はその囚人を通して、自分の中の善悪を確立しているところだったのです。

他の囚人に対しての今までの行いを悔い改め、

仕事にも積極的に携わろうとしていたところでしたから。

もう一つの過去世をお伝えします。

こちらは女性の方です。介護のような仕事をしています。

仕事も熱心にしてがんばっていますし、患者さんに尽くしています。

そういう彼女の性格を少し利用するような同僚もいました。

仕事を押しつけるというか、いいとこどりをするというか、、、

まあどこにでもいますよね、、、

彼女が反撃をしないことをいいこにどんどん仕事を押し付けてきました。

過剰に仕事が多くなると出てくるのがミスです。

彼女はテキパキと仕事ができるタイプではありませんでした。

丁寧でゆっくり、彼女の持ち味です。

でも仕事が多くなってしまうと、それでは回していけません。

できるだけ頑張ってやっていたのですが、チョコチョコとミスを犯し始めました。

周りからは責められたりして悔しい思いもしていましたが、

彼女なりにがんばってこなしていました。

でもついに大きなミスをしてしまうのです。

患者さんの命にかかわるようなミスです。

それは責任感の強い彼女にとっては耐え難いほどショックでした。

彼女を責める人もいましたが、かばう人もいます。

それでもやっぱり自分自身が一番許せないというか、、、

それで彼女は少し精神的にうつ病のような状態になり

仕事を辞め家に閉じこもりがちになりました。

やさしい彼女ですから、近所の人たちが心配して彼女の世話をします。

ご飯をつくってくれたり、編み物をして一緒に過ごしてくれたり、

夫となる人も紹介してくれました。

旦那さんと過ごすうちに、心の傷は少しずつ癒えていき

のちにハーブと足湯をつかって足をマッサージするというお仕事につきます。

今の足つぼマッサージのようなものです。

過去世のリーディングはここまでです。

つぎに占星術の面からTさんを紐解いて見ましょう。

第6ハウスに金星が入っていますね。

第6ハウスというのは労働や健康などを意味しますが、

自分にとっての合わない仕事は健康を害すとおおり

ここに金星が入っているTさんは、「快」「不快」というものを大切にして

仕事をすすめる必要があります。

そしてその「快」「不快」を決めるものは、人と貢献という形でつながることのようです。

労働を見る場合、第10室も大変重要なのですが、木星とキロンがありますよね。

そしてその金星、第5室の海王星とアスペクト（角度）を取っています。

これを今から説明していきます。

第10室の木星は自分が良いと思うものを力強く発信していくことが

Tさんの天職や天命につながることを意味しています。

そして5室の海王星はあなたの大好きなものを創造していきなさいということなのです。

大好きなものを力強く発信していく、海王星の性質からいうと、

スピリチュアル系統かもしれませんね。

そしてキロンはそれを打ち出していく怖さを表しています。

踏み出そうとすればするほど「私には無理」「私にはできない」といった思いがでできます。

でもこのキロン、第1室の土星と第7室の水星とアスペクトをとっています。

このキロンを乗り越えることで、

自分が植え付けられていた恐怖や制限を外せるようです。

手堅く生きようとしているのかもしれませんが、

制限を外すという可能性を感じてみてください。

第7室はパートナーソウルメイトのお部屋ですね。

Tさんの恐怖心や制限をはずしたとき、

Tさんがもっている知性や知識がより生きるようです。

それがパートナーとの縁を結びつける要になるようです。

そしてその水星もまた第1室の土星と角度をとっているのです。

恐怖ではなく喜びを選択する勇気をもってくださいね。

7室の月はパートナーとの心の交流をととても大切にする、

パートナーによってTさんのもともと持っている情緒の豊かさが花開くのかなと。

その土台はお一人でつくらなくてはいけないようですが、、

それは先ほど申し上げた制限や怖れを手放して喜びを選択することです。

以上がリーディング内容になります。

.....ま と め

■ あなたの過去世は

1600年代に囚人の監視役（刑務官）のような男性でした。

介護者として一生懸命働く、責任感の強いやさしい女性でした。

■ あなたの選ぶべき生き方は

この二つに共通するものは罪悪感です。

過去世の感覚をいうと、Tさんは今の仕事を通して贖罪を行っているような感じでした。

自分が至らないから、自分がダメだからと自分を責めて辛い状況に

自分自身を追い込んでいるような感じだと過去世から読み取れます。

もうそういうことを手放して、ご自身の楽しみを表現することを求められています。

土星、キロンが指しているのはTさんがとても強い制限、

怖れの中で厳しく育てられているとも言えます。

なので、この手放しは容易ではないかなと思いますが、

それは一度、人生が崩れるような感覚になるとおもいますから・・・

でもそれでも何が自分を幸せにするのかを正直にみつめていく必要があります。

脱皮という言葉がぴったりかなと。

■ 私からのコメント

今の会社でもやることはあるかなと過去世を読んでいておもいました。

自分自身をあえて辛い状況に追い込んでいるということは、

それを改善できる余地があるというか、

自分自身を責めていることからその状況を創ってしまっているとも言えます。

周りの人もTさんと同じ状況でしょうか？

うまいことやっている方はいらっしゃいませんか？

その人とTさんと何が違うのでしょうか？

そこを改善していくことは自分で自分を追い込んでしまうことパターンを緩めることになります。

そのパターンがあると、仕事を変わってもまた同じような気持ちになってしまうのです。

今はサービス残業がありすぎて辛いということですが、

サービス残業がなくなったらその仕事に対して、Tさんはどう感じるでしょうか？

ずっと続けていけるでしょうか？？

そんなことを自分でみつめていると、ご自身がどこに向かいたいのかが見えてきます。

2016年9月14日

こんにちは ^^ 中村です。

リーディングはいかがでしたか?? 恋愛って私たちの人生に大きくしめています。

そしてだからこそ人生のいろいろなところと繋がっています。

今痛みを感じているなら、それは過去世のものではなく、『今』なのです。

そしてご提供しているセラピーは過去世もふくめて、癒しを起こします。

「今」のご自身からみつめて、痛みを解放していけば過去世も含めて癒されるのです。

それが「今」のとてもすごい力なのです。

なので、過去世はあくまでも今につながるツールの一つとして考えて頂ければなと思います。

痛みの解放に有効なこと、愛する人に出会う方法、下記のブログにたくさん書いています。

ご参考になさってくださいね ^^

『40代からのホンキで運命の人に出会える方法 | 次は自分が大好きになる人と結ばれる!』

<http://soulmatelesson.com/>

『幸せな復縁をする復縁セラピー | 心の絶対法則で元彼と愛ある日々を取り戻す』

<http://fukuentherapy.com/>